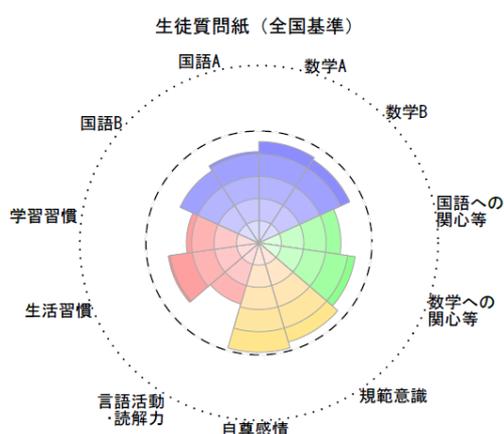


【様式 3 - 3】

大阪市立今津中学校 平成 26 年度 校長経営戦略予算【加算配付】配付申請書
(補足説明資料)

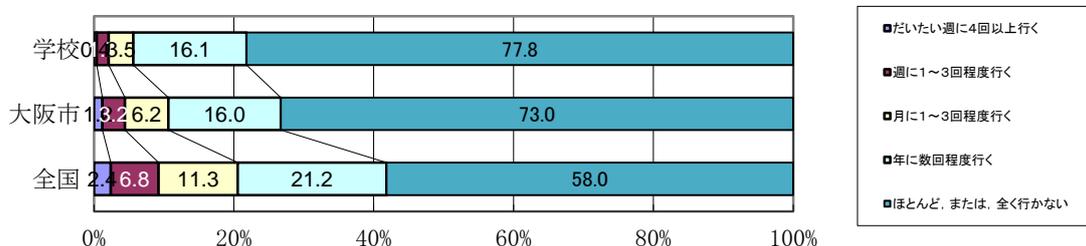
1. H25 年度学力学習状況調査の結果で言語能力に関する事項

右のチャート図は平成 25 年度学力学習状況調査生徒質問紙の結果である。国語 A、国語 B、学習習慣、言語活動・読解力、国語への関心等の項目は、全国基準に比べてかなり低い結果となっている。特に言語活動・読解力の項目は著しく低い。



また、下の図は平成 25 年度学力学習状況調査生徒質問紙の回答結果集計である。読書に関する項目 (図書室の利用と読書時間) の結果であ

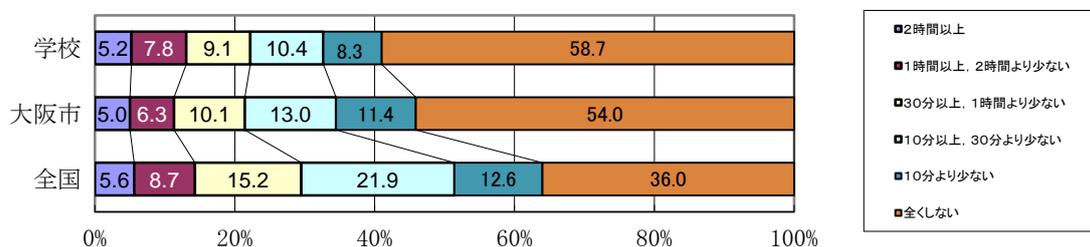
図書室をほとんど利用しないと答えている生徒



が 80%。1日にほとんど本を読まない生徒が 60%もいる。大変悪い結果である。

本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・室や地域の図書館へどれくらい行きますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)

家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌除く)



以上のように本校生徒の言語能力に関する事項は、毎年大変悪い。読書に費やす時間が短くなる一方で、テレビやゲーム等に長時間費やす生徒の比率は高くなってきている傾向がある。

読書をしないことが、国語への関心の低さに、そして言語活動・読解力の低さに影響している。そして、教科としての国語が低くなっている原因であろう。言語能力は学力の基礎であり、その育成には、学校での授業改善による学力向上の取組や、幼保・小・中との連携しての取組、そして、地域・保護者の協力を得ての家庭学習習慣や生活習慣の改善など総合的に進めていく必要があると考える。

2. H25年度の校長戦略予算による取り組みの結果

(1) 読書活動(教務・学校元気アップボランティア)

2学期より学校元気アップボランティアによる月曜の放課後の図書室開館を実施したが、部活動があるために利用者は少なかった。しかし、図書館便りでの呼びかけや昼の開館を精力的に行い、図書室を利用する生徒は大幅にアップした。

(図書館を利用した延べ人数：1年生 1053人 2年生 1088人 3年生 925人)

H26年度は放課後の開館は止め、昼の開館を学校元気アップボランティアに手伝ってもらうことで教員の負担を減らし、昼の開館回数を増やす方向で検討している。また、今年になって新たな問題が出てきた。それは1年生が全員給食になったことで、1年生の昼の休みがなくなり図書室の利用ができない状況になっていることである。早急に対策を講じる必要がある。

(2) 読書活動(各学年)

1年生：朝読書が定着。読書の木、読みたい本リストの作成など順調に行われ、生徒の読書量は多くなった。

2年生：学年の生徒の状態が悪く、読書活動は低調であった。

3年生：朝読は学級により様々であったが、前年に比べ読書量は増えた。

(3) 読み語り活動 (文芸部・生徒会)

昨年の出前実績: 保育園 2回 幼稚園 2回 小学校 2回 (土曜授業に参加)

【保育所での読み読りの様子】



読み読りの出前はどこでも大変好評で、お褒めの言葉を多く頂戴し生徒の自尊心や自己有用感が高まったようである。初めは緊張気味であった生徒達であるが、回を重ねるごとに読み読りに慣れ、小さな子供たちの素直な反応にも助けられ、自信を深めたようだ。それぞれが自分の得意な絵本や分野ができ、練習にも熱が入っている。

今年度は、より積極的に出前を行うとともに、読み語り活動に一人でも多くの生徒が参加するよう働きかける。また、生徒たちはエプロンシアターや紙芝居など新たなレパートリーに意欲的に挑戦しようとしている。そこで民間の読み読りの団体に指導をお願いし、生徒の実力をアップさせる予定である。

(4) 漢検の結果 (中学生)

1回目 (11月1日) 1・2・3年生

2回目 (1月31日) 1・2年生

級	受験者	合格者	合格率	級	受験者	合格者	合格率
2級	3	0	0.0	2級	1	0	0.0
準2級	7	4	57.1	準2級	13	6	46.2
3級	66	29	43.9	3級	63	31	49.2
4級	211	102	48.3	4級	153	58	37.9
5級	252	129	51.2	5級	132	54	40.9
6級	74	53	71.6	6級	61	22	36.1
7級	50	22	44.0	7級	34	8	23.5
8級	1	1	100.0	8級	0	0	0.0
9級	1	0	0.0	9級	0	0	0.0
10級	3	1	33.3	10級	3	2	66.7
合計	668	341	51.0	合計	460	181	39.3

5 級以上の合格率は 1 回目が 39.5%、2 回目が 32.4% である。2 回目は 3 年生が抜けた分少し低くなっている。

昨年度は十分に用意ができないままの受験であった。生徒の受験へのモチベーションも低く、望んでいたより悪い結果となった。また、2 学期からの取り組みとなると 2 回目の受験が 3 学期になり、3 年生が高校入試の時期と重なるため、漢検を実質受験できなくなる。ぜひ、1 学期からの取り組みができるよう、予算配布の時期を早めていただきたい。

(5) 漢検（小学生 5・6 年生）

1 回目の結果（11 月 9 日）

2 回目の結果（2 月 8 日）

級	受験者	合格者	合格率	級	受験者	合格者	合格率
2 級	0	0	0.0	2 級	0	0	0.0
準 2 級	0	0	0.0	準 2 級	0	0	0.0
3 級	0	0	0.0	3 級	2	1	50.0
4 級	3	3	100.0	4 級	1	1	100.0
5 級	9	7	77.8	5 級	12	10	83.3
6 級	23	21	91.3	6 級	20	18	90.0
7 級	23	21	91.3	7 級	4	4	100.0
8 級	1	1	100.0	8 級	0	0	0.0
9 級	0	0	0.0	9 級	0	0	0.0
10 級	0	0	0.0	10 級	0	0	0.0
合計	59	53	89.8	合計	39	34	87.2

校区小学 5・6 年生の希望者を募っての漢検を行った。土曜日しかも受験料自己負担の受験であるので、きわめて意欲の高い児童であったと思われる。1 回目・2 回目とも合格率が 90% 近くもあった。

来年度はより多くの児童が受験するよう働きかけたい。それとともに、親子での受験も OK とし、より家庭での関心が高まるようにしたい。

(6) 漢検に向けた学習会

昨年は十分に取り組むことができなかった。今年は、国語の授業・各学年の総合的学習の時間・学校元気アップボランティアによる学習会の中で、計画的に漢検の勉強を実施していく。

特に、学校元気アップボランティアによる学習会では、生徒の学習意欲が高まる工夫として、タブレット PC を使った学習なども考えている。（タブレット PC が手に入ればであるが）

以上、昨年 2 学期からの取組だけであるが、成果は少しずつ表れてきている。

校長戦略予算とは別であるが、言語力育成に焦点を当てた研究授業を伴う校内研修や各教科での授業改善の取り組みも並行して行っていく。教員の言語能力育成への意識と共通理解も徐々にではあるが高まり進んできている。時間はかかるが上記の取り組みを絶えず見直しながら継続することで、子供たちの言語能力を高めていきたい。